

令和7年度 北区立赤羽台西小学校学校経営方針

校長 村松 良臣

○北区教育・子ども大綱 教育分野 基本方針

まなび

ささえ

つなぐ

○北区教育ビジョン2024 3つの柱 13の「取組の方向」

○「教育先進都市・北区 NEXT STAGE」

北区立赤羽台西小学校 教育目標

工夫する子ども

協力しあう子ども

やりぬく子ども

3つの“あつくなる”学校

授業が熱くなる学校

- ・児童が目的意識をもち、自己決定できる授業改善
- ・きたコンの活用 → 児童のデジタル・シティズンシップを育成
- ・学校図書館を活用した調べ活動、読書活動の充実
- ・NIE教育の成果を生かした情報活用能力の育成
- ・スタートカリキュラムの実施
→ 保育園・幼稚園・子ども園との連携
- ・自主学習（家庭学習を含む）の推進
- ・学校改築による様々な制限→アイデアと地域等との連携による体力向上の工夫

心が篤くなる学校

- ・「北区子どもの権利と幸せに関する条例」に基づく子どもの権利の保障と人権教育の推進
- ・「個性と支援」の理解教育の実施
- ・「桐ヶ丘子ども憲章」の推進
「明るくあいさつをしよう」、「はきものをそろえよう」、「じかんとをまろう」
- ・「学校いじめ防止基本方針」に基づく、「未然防止・即対応」
- ・アンガーマネジメント教育の実施、レジリエンス等の非認知能力の育成
- ・健康、教育相談の充実
- ・食育の推進
- ・安全及び防災教育の充実

互いの信頼が厚くなる学校

- ・学校運営協議会による「熟議」を大切にした地域と協働する学校経営
- ・外部人材及び外部機関の積極的な活用
- ・児童が安全・安心に過ごせる環境の整備
(不登校児童への学びの保障を含む)
- ・サービス事故ゼロ
- ・学校の発信力の向上
- ・教育活動をサポートするスタッフの充実
- ・教員の働き方改革の推進

今年度の取組目標と方策（◎は重点とする方策）

授業が熱くなる学校

1 児童が熱くなる授業を実践し、学力・体力の向上を図る。

- ◎児童が目的意識をもち、自己決定できるよう「どうしたい?」「そのためにどうする?」などの問い掛けの工夫
- ・見通しがもて、自己調整できる単元指導計画と1時間の展開の工夫
- ・「授業改善推進プラン」「つまずきゼロプラン」の見直し
- ・探究し、思考・判断・表現するツールとしての「きたコン」の活用
- ・デジタル・シティズンシップ教育における情報活用能力の育成
- ・保幼小の連携
- ◎自分の考えを100字で表す学習習慣
- ◎校舎改築を見据えた学校図書館の整備、読書活動のさらなる充実
- ・個別最適な家庭学習の啓発
- ・高学年における一部教科担任制の導入
- ◎指導教諭の模範授業・協議会の参加、還元
- ◎体力向上につながる遊びや児童がチャレンジする企画の提案

心が篤くなる学校

2 篤い心を育み、豊かな人間性を培う。

- ・教員一人一人が全員の担任
- ・「北区子どもの権利と幸せに関する条例」の理解・実践
- ・児童のよりよい発達を目指した全校体制での適切な支援
- ◎月1回の校内委員会の充実
- ◎「個性と支援」の理解教育の実施
- ◎デジタル・シティズンシップにおける情報モラルの指導
- ・考え、議論する道徳授業の実施と別様の作成
- ・アンガーマネジメント教育の実施
- ・SC等を活用した教育相談体制の充実
- ・「桐ヶ丘子ども憲章」の3つに重点を置いた生活指導
- ◎「学校いじめ防止基本方針」の見直しといじめ問題は「未然防止・即対応」
- ・各教科等と関連した食育の実践
- ・安全教育、防災教育の実施

互いの信頼が厚くなる学校

3 児童・保護者・地域と教職員との厚い信頼関係を構築する。

- ◎学校運営協議会において、互いに育てる赤西の子どもについて「熟議」できる機会の確保
- ・スクールコーディネーターと連携した体験活動の充実
- ・いなほクラブや古民家ボランティアなど地域の教育力を生かした学習の実施
- ・PDCAサイクルを基準とした一貫した教育課程の管理
- ◎不登校児童に寄り添った学習機会の確保
- ・サービス事故防止研修や日常のチェックによる事故防止
- ・桐ヶ丘SF；ESDを柱とした小中一貫教育の推進
- ・伝わる広報の充実、伝えたい広報の精選
- ◎学校ホームページの更新；年間100回
- ・校務改善、環境への配慮や校舎改築に向けた教育環境の整備
- ◎教員の働き方改革；教職員の提案を生かした推進